

初夏の陽光に咲きそろうヒマワリ＝ユートピア農園



小さな太陽広げ「ヒマワリ蔵」

夏を先取りしたヒマワリの花が観光農園「ユートピア農園」（南足柄市塚原）で見頃を迎えている。初夏の日差しに60〜70センチと小ぶりだが、力いっぱい小さな太陽を広げている。

ヒマワリは「夏りん蔵」という品種で茎などが柔らかく緑肥となる。季節外れの花を育てる同農園では3月中旬に種をまき、現在は10センチの畑に約5千本が咲きそろっている。

近くの畑にも3段階に時期をずらして種をまいており、6月いっぱいまで花を見ることができるといふ。

ヒマワリは切り花として10本500円で販売されている。開園は火、土、日曜。同農園へは大雄山線塚原駅から徒歩25分。問い合わせは、同農園の古屋富雄さん ☎090（7849）9200。（望月 寛之）

神奈川
新 聞

2019年（令和元年）
5月18日[土]